

活動成果報告書

平成30年度（第22回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

八幡浜市糖尿病サポーター（YDS：Yawatahama Diabetes Supporter）養成講座
～糖尿病重症化予防支援体制づくり～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

八幡浜市保健センター

代表者：中川 綾

勤務先：八幡浜市役所

所 属：市民福祉部 保健センター 成人保健係

所在地：〒796-0010

愛媛県八幡浜市松柏乙1101番地

TEL：0894-24-6626

FAX：0894-24-6652



◇活動方針

高齢になると、慢性疾患をもちながら地域で生活する方が増えてくる。中でも糖尿病は、食事運動療法といった生活習慣が治療の基礎であり、インスリン療法や内服管理など日常の療養状態が疾病管理に大きく影響する。

本市の高齢化率は38.8%（※1）と65歳以上人口が4割近くを占め、65歳以上の要介護認定率は18.6%（※2）、そのうちの約2割（約500人）（※2）が糖尿病有病者である。保健、医療、介護分野の関係者が糖尿病の知識を深めることは病状管理に役立ち、糖尿病の重症化予防につながる。また、広く関係者が集い、共通認識を持つことで、地域の糖尿病重症化予防に対する意識が向上し、地域ぐるみで糖尿病の重症化予防に取り組むことができる。

保健、医療、介護分野における関係者を対象に、糖尿病に関する知識の普及と相互の関係づくりを目的とし、市立八幡浜総合病院糖尿病チームとともに八幡浜市糖尿病サポーター（YDS）養成講座を実施し、糖尿病重症化予防支援体制整備を図る。

（※1）…「H30年度高齢者人口等統計表（愛媛県長寿介護課作成）」より

（※2）…KDBシステム「要介護（支援）者有病状況（H29年度累計）」（H30.8.22時点）より

◇活動内容

【八幡浜市糖尿病サポーター（YDS）養成講座の開催】

1 対象：保健・医療・介護関係者（近隣市町含む）

周知：市内医療機関、歯科医療機関、薬局、介護保険・高齢者関係施設、保健センター等にFAX又は郵送にて周知

活動成果報告書

2 講座の開催回数及び内容及び参加者数

(1) 基礎編 1回 (9月13日) 30人

内容：講話「YDSについて」「糖尿病とは?」「日常生活について」「糖尿病食」
グループワーク「糖尿病かるた紹介」

(2) 応用編 4回

内容：1回目 (5月17日) 59人：グループワーク「事例検討」
2回目 (7月5日) 59人：講話「歯周病」、グループワーク「フットケア実技編」
3回目 (11月15日) 60人：講話「糖尿病の合併症」、グループワーク「合併症体験」
4回目 (2月21日[予定])：講話「日常生活外の注意点」、グループワーク「糖尿病かるた」

(3) 特別講演会 (9月21日) 63人

講演会「佐賀県における糖尿病性腎症重症化予防の取組 ～多職種・行政との連携～」
講師：国立大学法人佐賀大学医学部 教授 安西慶三 先生
グループワーク「患者の常識・指導者の非常識 ～その問いにどう答えますか?～」

3 養成講座の講師

講座の運営は市立八幡浜総合病院に委託

講師及びスタッフ：市立八幡浜総合病院糖尿病チーム

(糖尿病専門医、薬剤師、管理栄養士、看護師、理学療法士等)

4 YDSの認定及び更新認定

(1) 新規認定者見込数 30人

【職種別認定者見込数 (人)】

薬剤師	看護師	作業療法士	保健師	管理栄養士	ケアマネ	介護職	ヘルパー	相談員
3	3	3	6	1	2	8	3	1

【事業所別認定者見込数 (人)】

医療機関	薬局	行政	居宅介護事業所	老人福祉施設	グループホーム	デイサービス	不明
8	3	6	4	5	1	2	1

(2) 更新認定者見込数 83人

【職種別認定者見込数 (人)】

歯科医師	歯科衛生士	薬剤師	看護師	保健師	栄養士	ケアマネ	介護職	ヘルパー	管理職	社会福祉士	相談員
2	1	2	17	8	5	23	6	7	4	1	7

【事業所別認定者見込数 (人)】

(歯科含む) 医療機関	薬局	訪問看護	行政	居宅介護事業所	訪問介護事業所	老人福祉施設	グループホーム	デイサービス デイケア	その他
11	2	6	10	23	7	14	2	6	2

5 養成講座参加者アンケート結果

(1) 基礎編

【理解度】

理解できた	理解できなかった	どちらでもない
28人 (93%)	1人 (3%)	1人 (3%)

活動成果報告書

【日頃の業務への役立ち度】

役に立つ	役に立たない	どちらでもない
28人 (97%)	1人 (3%)	0人 (0%)

(2) 応用編 2 回目

【理解度】

内 容	理解できた	理解できなかった	どちらでもない	未回答
歯周病について	54人 (92%)	0人 (0%)	0人 (0%)	5人 (8%)
フットケア実技編	54人 (92%)	0人 (0%)	0人 (0%)	5人 (8%)

【内容の充足度】

内 容	十分	不十分	どちらでもない	未回答
歯周病について	51人 (86%)	0人 (0%)	2人 (3%)	5人 (8%)
フットケア実技編	52人 (88%)	0人 (0%)	2人 (3%)	5人 (8%)

(3) 応用編 3 回目

【理解度】

内 容	理解できた	理解できなかった	どちらでもない	未回答
合併症について	56人 (93%)	0人 (0%)	2人 (3%)	2人 (3%)
合併症体験	56人 (93%)	0人 (0%)	3人 (5%)	1人 (2%)

【内容の充足度】

内 容	十分	不十分	どちらでもない	未回答
合併症について	48人 (80%)	3人 (5%)	7人 (12%)	2人 (3%)
合併症体験	48人 (80%)	1人 (2%)	9人 (15%)	2人 (3%)

◇成果

- 基礎編受講者が 30 人あり、H30 年度末時点の YDS 認定者数は計 322 人となった。また、参加者のほとんどが業務に役立つと答えており、得た知識を活用できる講座の内容となっている。
- H29 年度末時点認定者 292 人のうち 83 人が応用編を受講しており、認定者の約 3 割が継続した学習につながっている。応用編の講座内容について、「理解できた者」が 9 割、「十分」と答えた者が 8 割と、理解度、充足度ともに高く、受講者のニーズに沿った講座ができている。
また、受講を継続することで、参加者と講師である市立病院専門スタッフとのつながり、受講者同士のつながりの強化にもなっている。
- 養成講座の基礎編を開催することで、地域における糖尿病の理解者が新たに増え、さらに応用編を開催することで、関係者の関心度や知識の維持・向上及び、連携強化につながっており、地域ぐるみで糖尿病の重症化予防に取り組む基盤となっている。

◇今後の計画

- 年度末に YDS 認定委員会を開催し、新規認定者及び更新認定者の決定をし、H31 年度の糖尿病対策イベントにおいて認定証の交付式を行う。
- 在宅自己注射の見守りができる YDS を養成することを目的とし、YDS 認定者を対象とした「YDS ディバイスプラス（仮称）」認定制度を設け、養成講座を実施する。